

## 平成 29 年度 学校評価実施報告書

幼稚園名 ( 京都市立 待賢 幼稚園)

<p>1 幼児が主体的に遊ぶ姿を重視する <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保育の改善・充実</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が十分に遊ぶ中で、探究する力を育むための重層的な環境構成のあり方を考え、子どもの姿から日々の保育を見直す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安心、安全、主体性を重視した園の環境が生かされる保育環境づくり</li> </ul> </li> <li>・計画性をもった保育の取組と園行事の精選           <ul style="list-style-type: none"> <li>* ねらいを明確にした週案の作成と園行事の見直し</li> </ul> </li> </ul> <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊び姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討</li> <li>・アンケート項目「子どもは自分から遊びを見つけて遊んでいますか」</li> </ul> <p>各種指標結果 (1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊び姿の変容 (週案の反省、評価の記述・事例検討から)</li> <li>・アンケート結果「93%」</li> </ul>	
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主題にある「重層的な環境構成のあり方」を考えていくことは、保育の改善や子どもの変容につながりつつある。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの安心感が、主体的に遊び込める保育になっている。探究する力を育むための重層的な環境構成のあり方については、2学期以降視点を定めて取り組んでいく。</li> </ul>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園では、支援の必要な子どもや他園で不調をきたした子ども等の受け入れを積極的に行い、公教育としての役割をしっかりとしている。</li> <li>・「子ども・子育て支援新制度」以降18時までの預かり保育が導入され、幼稚園の多忙さを感じる。もっと各方面に現状を知ってもらう必要がある。</li> </ul>
	評価日 平成 29 年 9 月 20 日 評価者 学校運営協議会
<p>各種指標結果 (2回目)</p>	
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p>
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

<p>2 小学校への学びにつなぐ「学びに向かう力」を育む</p> <p>・接続カリキュラム作成を意識した年間交流計画の作成</p> <p>・通園区域内にある小(中)学校への保育公開及び合同研修</p> <p>・「親子で絵本！」の取組の定着</p>		幼小接続の視点
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の事前・事例検討</li> <li>・公開保育及び合同研修の回数</li> <li>・「親子で絵本！」のノート活用度</li> </ul> <p>アンケート項目「“親子で絵本！”の取組は楽しめていますか」</p>		
<p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の年間計画実施率 80%</li> <li>・小(中)学校への保育公開及び幼小連携会議の継続</li> <li>・「親子で絵本！」のノート活用率 100%</li> </ul>		
<p>自己評価</p> <p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を立てて、見通しをもって取り組むことができた。</li> <li>・読書については、園全体で継続して取り組んでおり、活用率は 100% になった。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学期は交流がほとんど実施されていないため、次年度に向け計画していく。</li> <li>・親子で 100 冊絵本読書をめざし、保護者同士で “おすすめ絵本！” を紹介しながら楽しんで取り組めるようにする。</li> </ul>		
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園は、地域と共に歩んでいる小学校（中学校）とさらに繋がっていくためにも、出来得る交流は推し進めていってほしい。</li> <li>・小学校で使用している 100 冊読書ノートを公立幼稚園でも活用していることは、幼小が繋がっていく上での良い取組である。</li> </ul>	
	評価日 平成 29 年 9 月 20 日	評価者 学校運営協議会
<p>各種指標結果（2回目）</p>		
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p>	
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p>	
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p>	
	評価日	評価者

3 自ら体を動かす意欲を育て、基本的な生活習慣を形成し、自信と自立心を育む

心と体・生活習慣

- ・年齢にふさわしい生活習慣の定着に向けた環境づくりと保護者との連携・啓発
  - \* 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着、テレビ・ゲーム（スマホ）等の依存に向けた啓発
- ・運動遊びを取り入れた園の環境を生かした保育計画

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・アンケート項目

「年齢にふさわしい生活習慣が身に付きましたか」

「運動遊びを通して、体力がついてきていると思いますか」

- ・週案の中の「運動遊び」の取り入れ方及び反省、評価の記述。

各種指標結果（1回目）

- ・生活習慣が身に付いてきている 83%
- ・体を動かして遊ぶことが好き 90%
- ・実施後の週案の見直し。ほぼ毎日何らかの「運動遊び」の活動あり

自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"><li>・生活習慣の定着に関しては課題があり、保護者の評価は厳しい。</li><li>・幼児期は、体を動かすことで心も動くことが多くあるため、運動を取り入れた保育が週案に記載されている。</li></ul>
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"><li>・早寝・早起き・朝ごはんの定着と、十分な運動の推進を家庭に啓発する。</li><li>・運動をともなう活動を引き続き週案に明確化して取り組む。</li></ul>

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"><li>・長時間預かり保育の子どもが増えてきている現状から考え、幼稚園が家庭と共に連携しながら果たしていくべき役割がある。また、幼稚園の抱える課題も大きくなっている。</li><li>・子育て支援事業の一つである「ひよっ子クラブ」への参加者に向けて、先輩ママとして安心感につながる子育てサポートをしていきたい。</li></ul>
	評価日 平成29年9月20日 評価者 学校運営協議会

各種指標結果（2回目）

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

#### 4 自己発揮と自己抑制の調和のとれた自律性（折り合う心）を育む保育を推進する

信頼関係・折り合い・自己肯定感・公共心の芽生え

- ・安心して園生活を送るための教師との信頼関係づくり
- ・発達に応じた友達との人間関係づくり
- ・自信と自立心を高めるための自分でできる喜びを味わわせる援助

（取組結果を検証する）各種指標

- ・アンケート項目  
「幼稚園に行くのを楽しみにしていますか」  
「仲の良い友だちがいますか」  
「安心して、自信をもって園生活を送っていますか」

各種指標結果（1回目）

- ・信頼度 91%
- ・4歳児 91% 5歳児 92%
- ・安心・自信 91%

自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート結果以上に教師との信頼関係がとれており、園では喜んで生活している。</li><li>・一人遊びが多い子どもの場合、個々の発達段階に応じて友達関係ができはじめるので、心配しないよう保護者へ啓発していくことが大切である。</li></ul>
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"><li>・園内研修等により人間関係の育ちを学び合い、幼児の発達の過程を意識して見ていく。</li><li>・学級懇談会等を活用して、幼児の発達の道筋を保護者に啓発していく必要がある。</li></ul>
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"><li>・子育てに不安を抱える母親が多い現状から考え、母親の安心感につながる幼児期の子どもの成長・発達の道筋がわかる子育て支援をしてほしい。</li><li>・ほとんどの家庭では、家に帰ってから子どもが群れて遊べる環境にはない。幼稚園という場は、人間関係の育ちをつくる上で大変重要な場である。</li></ul>
	評価日 平成29年9月20日 評価者 学校運営協議会

各種指標結果（2回目）

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

独自の項目

- ・担任及び預かり保育担当者との連携と指導計画の見直し
- ・子育て支援センターとしての役割と充実
- ・地域、保護者等への情報の発信

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・預かり保育参加人数とアンケート項目；「預かり保育を喜んでいますか」
- ・未就園児対象「ひよっ子クラブ」「いちご組」への参加人数
- ・ホームページアクセス数と学校運営協議会、保護者の評価

各種指標結果（1回目）

- ・ほぼ全員が預かり保育へ参加、参加者は喜んで参加している。
- ・「ひよっ子クラブ」は（4～7月）、延べ391人参加。「いちご組」（月～木曜日）は毎日16人が登録し参加。
- ・アクセス数昨年とほぼ同じ。学校運営協議会、保護者は“楽しみ”にされている。

自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"><li>・短時間預かり保育及び長時間預かり保育の参加者が増え、喜んで参加している。</li><li>・個人の遊びだけでなく、内容にも変化をもたせて充実を図っている。</li><li>・ほぼ毎日更新が、昨年同様のアクセス数となっている。</li></ul>
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援の取組の1つであることを十分理解した上で、市立幼稚園のよさをアピールし、入園者数の増加につなげていきたい。</li><li>・市立幼稚園の教育が理解されるような更新内容の発信に心がける。</li></ul>
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"><li>・預かり保育開始以後、入園児が増加傾向にあり、預かり保育の必要性が感じられる。</li><li>・就労等で預かり保育を利用されている家庭は、子育てが大変だと思われるが、子育ての主体は保護者にあることを忘れないでほしい。</li><li>・待賢幼稚園のよさを広めていくための子育て支援ボランティアには協力したい。</li><li>・市立幼稚園に興味や関心をもち、入園したいと思ってもらえる内容にする必要がある。</li></ul>
	評価日 平成29年9月20日 評価者 学校運営協議会

各種指標結果（2回目）

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

